

事業報告書

平成31年4月1日～

令和2年3月31日

学校法人 育学園

報告事項

1. 法人の活動及びコロナ感染防止対応について（事務局：久田より）
2. 新年度における、学生募集活動の報告（事務局：久田より）
3. 財務状況（監事：玉城、国場）

1-1 法人の活動：

期中（昨年9月末に）に、スペースチャイナ外語学院の附属日本語学校の許可申請を行っており、近い将来中国より、専ら日本語を学ぶ学生の受け入れを視野に入れております。

これに伴い今年の1月には、文科省でのヒアリング調査対応済み。

1-2 コロナ感染防止対応について

世界がコロナウイルスで混乱している中、本校は対策として今年の1月頃からWeb授業を導入する運びになり、学則やカリキュラムも変更してあります。

Web授業のメリットとして、遅刻がなくなりました。また、Zoom上で中国語の文作りやピンイン表記等、チャット機能を活かして、タイムリーで送信してもらい、学生らは中国語で入力する力がついてきています。講師もタイムリーで画面上にて、添削して全員共有でるところです。

デメリットとしては、講師は学生の表情が分かりづらいとの意見がありました。

本校も6月より登校です。しかし強制的に出席させることなく、少しでも健康に不安がある、又は風邪症状等の生徒に関しては、引き続きZoomにて、受講してもらいます。

1.3 高等教育就学支援新制度の認定

令和2年度より実施する就学支援新制度は、昨年5月より学校認定の申請手続きが始まっており、安里公認会計士事務所の協力の元で、県へ申請を行い、厳しい認定条件をクリアでき、同年9月に認定校となりました。条件としては、法人における3年間連続赤字ではない等がありました。平成30年度の決算は黒字でしたが、今期は赤字となっています。今年度の学生募集を全力で行い、来期には赤字決算にならないように全力投球する必要があると痛感しております。

本制度は、住民非課税世帯・準ずる世帯の学生を対象に、授業料・入学金の免除または減額、更に給付型奨学金の併用もできます。私立専門学校の場合

は、入学金上限 16 万円、授業料上限 59 万円。また、自宅より通学する学生には、月額 38,300 円、自宅外通学する学生には 75,800 円を給付する制度です。

2. 新年度における、学生募集活動の報告

- ・ 県内高等学校への営業強化

確実に進路担当先生のアポを取り、直接お会いし、学生の推薦を依頼。
高校にて、早朝チラシ配布。

- ・ ガイダンスへの出展

(今年 5 月に開催予定のガイダンスは新型コロナの影響により中止、7 月に延期開催を予定しています。)

- ・ オープンスクールの開催

高校掲示板に告知チラシ、名刺サイズの日程表のポケット設置。

Web にて、オープンスクール開催の模索